



大綱を引き合って農作物のできを占う区民ら
(別宮のお綱うち)

無病息災・豊作を願う

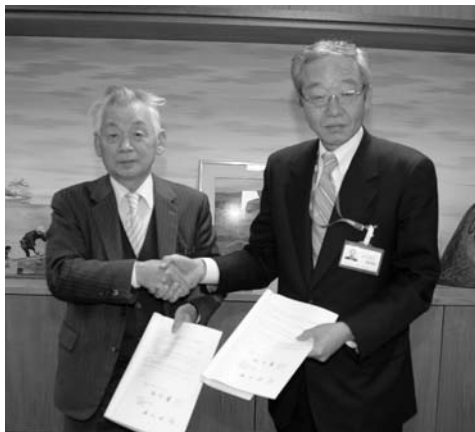
各地で新春の伝統行事

新春恒例の伝統行事が市内各地で行われました。

1月3日には、区内に大男がいるように見せかけ悪霊を払い除けるといわれている「安井の大ぞうり」が同区でありました。区民らが、わらを使って長さ1.5丈、幅1丈の巨大なぞうりを作り上げ、後日、村の入り口となる区境に奉納しました。

同9日には、無病息災と豊作を祈願する「別宮のお綱うち」が同区で行われました。早朝、各戸から持ち寄ったわらを使って最大直径30センチ、長さ18丈、重さ100キログラムの大綱を作った後、村の上組と下組に分かれて引き合い、新年の農作物のできを占いました。

同14日には、「まいそう祭り」が大屋町宮本の御井神社で奉納されました。これは、燃えさかるたいまつで鬼面姿に木鉾を持つ鬼をたたき、その年の無病息災を祈願するものです。木鉾と木箱を持った鬼が現れると、氏子らが「マーイソーナイ」とはやし立て、たいまつを鬼の持つ木箱に激しく振り下ろしました。



マックスバリュ西日本株式会社と協定締結

養父市は、地震や風水害などの災害が発生した場合に、緊急的な測量調査業務の応援を要請する「災害時における緊急測量調査業務等に関する協定」を1月9日、養父市測量設計協力会（谷隆雄代表、8社）と締結しました。

災害発生時、市は同協会が所有する測量機材や労力が必要な場合に、口頭か文書によって協力を要請。依頼する業務の内容は、①復旧工法検討に必要な測量調査作業、②早期保存が必要な被災状況の写真撮影、③道路交通確保または2次災害防止のための仮設構造物の設計業務、④その他に必要な緊急測量調査業務です。

有事に備えて2団体と協定締結
災害時の「測量業務の応援」「食糧等の確保」を

1月16日には、災害発生時の市民生活の早期安定を図るため、「食糧と生活必需品の確保に関する協定」を、マックスバリュ西日本株式会社（藤本昭代表取締役）と締結しました。要請する商品は、米やパン、インスタントラーメン、調味料などの食糧、食器類、ちり紙や歯ブラシなどの日用品雑貨、卓上コンロなどです。

今回締結した両協定とも、経費については市が負担することとなります。



測量設計協力会と協定締結